

9月は、運動会や文化祭、音楽会等に向けて学年や学級で準備を進めることが多くなります。発表の形を整えようとするあまり、教師がリードし過ぎてしまうことがあります。子どもたちが主体的に取り組めるように、目標設定や役割分担等をしたいためです。また、夏休み明けに欠席が増える子どもがいます。子どもの様子をよく見て、学校生活における「動」と「静」のバランスに配慮しましょう。



<小学校>

「学級合唱」で心をつなぐ

学級みんなで歌うことには、一体感を味わえるよさがあります。そのよさを生かした学級づくりで、子ども同士的心をつなぎ学級への所属感を高めたいものです。

○ まずは学級みんなが楽しんで歌える選曲を

- ・子どもたちに決めさせる。
「難しすぎずに、誰もが楽しめる曲」
- ・朝や帰りの会のプログラムに取り入れる。
(日替わりで、週単位などで)

◇ 学級合唱の取組から子どもをとらえる

- ・暗い表情の子がいないか気をつける。
- ・気になる子がいたら、合唱以外の場面も含めて、その子をよく見る。
- ・その子への理解に基づいて適切に支援する。

○ 学級みんなの思いを聞き手に届ける合唱

- ・学級みんなで歌えるよさを発揮させる。
- ・聞き手に応じた選曲を考えさせる。
- ・リーダー決め、練習計画立案等を支援する。

運動会を成功に導くために

運動会は学校、家庭、地域の方を自然に結びつける貴重な行事です。事前に情報を提供することと、当日の応援が成功へのポイントです。

○ 練習開始に合わせて

- ・運動会のテーマや日程、練習予定等を家庭や地域に知らせる。
- ・一人一役で、子どもたちが活躍する場を作る。

○ 練習期間の活動を紹介

- ・学級通信で、子どもたちの思いや活躍の場、種目の見所などを紹介する。
- ・子どもたちが招待状を作成する活動を行う。

○ 運動会当日の応援、事後の通信

- ・応援は、先生がいちばん大きな声で。子どもたちの動きがよくなり、そんな様子を家庭や地域の方は楽しみに見ている。
- ・運動会終了後に子どもたちの成長した姿や感想などを学級通信等でお伝えする。

<中学校>

文化祭は学級が成長する 大きなチャンス！

2学期最大の学校行事である文化祭。「学級のみんなががんばった」という思いが残るように、担任として生徒の活動を支えていきましょう。

◇ 学級独自の取組やアイデアが生かせる場を

- ・合唱、体育祭、学級展示などに向けて、学級の目標や約束を決めましょう。
- ・目標達成のためのアイデアや作戦を、生徒とともに考えましょう。

◇ 一人一人が輝く場を(一人一役)

- ・生徒の個性を生かした係分担を決めましょう。
- ・仕事分担を明確にして活動させましょう。

◇ 学級通信等でお互いの思いを伝え合う場を

- ・文化祭に向けた取組の中で生徒が感じていることを、学級全体に広げていきましょう。
- ・文化祭に向けた担任の願い、学級のために頑張っている生徒へのメッセージを伝えましょう。

「行動が遅い」生徒を支援するポイント

スケジュールを明確化し、できたときにはそれを認める

Kさんは興味があることに夢中になってしまうと、その活動をやめることができず次の活動に遅れてしまうことがあります。

- ・日課専用のホワイトボードを用意し、そこに1日の授業の始まりと終わりの時間を明記して朝の会で提示しました。
- ・キッチンタイマーを用意し、次の活動が始まる3分前にアラームが鳴るようにセットして、活動の終了があらかじめ分かるようにしました。
- ・時間を守って活動できたときには、そのことを大いに認め、シールを渡したり、Kさんのスケジュール表に○を書いたりしました。

→自分からホワイトボードの前に行って日課を確認したり、達成できたことを認めてもらったりして時間を守れることが多くなりました。